

日赤ナースなり隊(日本赤十字広島看護大学)

平成
23年度

◎チーム紹介と活動内容

「日赤ナースなり隊」は、日本赤十字広島看護大学の6名からなるチームです。体の構造や働き、病気の予防について子どもたちと一緒に学習することができます。「工作」・「スポーツ」・「読み聞かせ」・「寸劇」・「読み聞かせ」などの活動も可能です。皆さん、放課後子ども教室で体や健康などの学習や工作などの活動をしませんか。

◎活動の様子

活動教室：北広島町八重東放課後子ども教室

日時：平成23年12月17日(土) 10:00~12:00

場所：千代田中央公民館

参加人数：6名(大学生ボランティア)、26名(子ども)



大学生と地元のボランティアサークルが一緒になって、劇を盛り上げていました。

子どもたちには、バイキンマンが大人気。大学生も「一生懸命練習してきたかがありました」と大変喜んでいました。



絵描き歌は、大学生の予定では、2回歌って終わるつもりでした。しかし、子どもたちの反応は大喜びでした。そこで、大学生たちは、子どもといっしょに、何度もくり返し絵描き歌を歌い全員絵を描くことができました。

子どもたちは、自分で書いた絵と、大学生からもらった歌詞を大切に持ち帰っていました。

○学生の皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

最初、緊張するかなと思ったけど全然緊張しませんでした。しかし、子どもたちがこういった反応をしてくれるのかそればかり心配でした。

終わった後、地域のボランティアの方と交流をもつ機会を設けてもらい、ボランティアとしての経験などを聞かせてもらい本当にいい勉強になりました。

○市町スタッフの皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

大学生の皆さんが一生懸命準備してくれたことが、とてもよく伝わってきました。

ボランティアの人たちも、朝から大学生さんが来るのを楽しみにしていました。若い学生さんたちとの交流で地域住民が元気になることで、ひいては子どもたちも元気になります。

これからもこのような事業を実施していただきたいと思います。